

経済

Economic

企業は、事業活動を通じて提供する商品・サービスが社会に評価されることによってはじめて持続的に存在することができます。そのためは、企業自らの継続的な努力もさることながら、商品・サービスの提供に関わる、多くのステークホルダーとの良好な関係を築きあげることが不可欠です。駅と鉄道を中心としたJR東日本グループの事業活動は、鉄道事業、生活サービス事業、Suica事業を3つの柱とするなかで、社会に深く浸透しており、その影響も広範囲に及んでいます。関係するステークホルダーも多岐にわたっていることから、私たちJR東日本グループは、事業活動に関わる全てのステークホルダーの皆さまとの経済的関係を把握することに努めています。

ここでは、社会環境報告書におけるJR東日本グループの経済的側面に関する情報として、年次決算などの財務報告などとは異なり、「さまざまなステークホルダーとの経済的関わり」という視点を重視した

報告としています。

JR東日本グループの経済的パフォーマンス

JR東日本グループは、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのご要望、ご期待に応える事業を継続的に創造、展開することで、企業グループとして持続的な発展をめざし、同時に社会に対し継続的に貢献していきます。

2005年度の経営成績

JR東日本グループの事業の中心は鉄道を含む運輸業で、2005年度連結営業収益の約70%を占めています。残りの約30%のうち主なものは、駅ビルのショッピングセンター、ホテル、小売などの生活関連事業によるものです。

2005年度連結決算は、当期連結営業収益、当期純利益ともに増加し、当期純利益は前年比459億円増の1,575億円となりました。これは、運輸業が新潟県中越地震による前期減収分の反動増や近距離収入の好調などに支えられ増収となったことをはじめとし、全てのセグメントにおいて増収となったことによるものです。

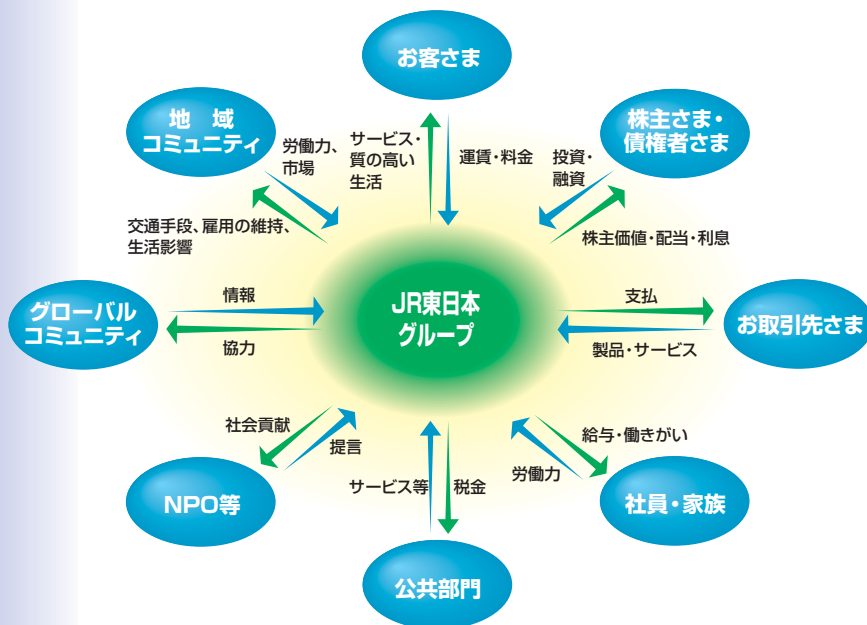
ステークホルダーとの経済的関わり

JR東日本グループが事業活動を営むことにより、ステークホルダーの皆さまとの間に経済的関係が発生しています。このJR東日本グループの事業活動とステークホルダーとの経済的関係をよりわかりやすく表すことを目的として、ステークホルダー別の経費などの内訳を示しました。

算出にあたっては、数値の客観性を担保するために、連結財務諸表の数値を用いました。

また、ここではステークホルダーのなかから株主さま、お取引先さま、従業員、債権者さま、公共部門（行政）を取り上げています。

▶ステークホルダーとの関係図



▶ 連結財務諸表とステークホルダー別経費等内訳

連結損益計算書		億円	
営業収益		25,923	
運輸業等営業費及び売上原価		17,016	(1)
販売費及び一般管理費	人件費	2,580	(2)
	諸税	186	(3)
	その他	2,180	(4)
	計	4,946	
営業利益		3,960	
その他収益		1,030	
その他費用	支払利息	1,365	(5)
	その他	930	
	計	2,295	
税金等調整前当期純利益		2,696	
法人税、住民税及び事業税		1,253	(6)
法人税等調整額		△156	(7)
少数株主利益		24	(8)
当期純利益		1,575	(9)

ステークホルダー別経費等内訳	億円	
お取引先さまなど	14,827	(1) - ★ + (4)
従業員	6,949	(2) + ★
債権者さま	1,365	(5)
株主さま	1,599	(8) + (9)
公共部門	1,282	(3) + (6) + (7)

★・・・単体損益計算書、運送営業費中の人件費 4,369

「ステークホルダー別経費等内訳」の算出方法

注) 従業員の経費を算出するにあたり、連結損益計算書では運輸業の人件費を「運輸業等営業費及び売上原価」に含んでいるため、単体損益計算書に記載の「運送営業費中の人件費」を加えて費用を算出し、より実体に近づけています。

お取引先さまなど: 「運輸業等営業費及び売上原価」から単体損益計算書の運送営業費中の「人件費」を控除した額、「販売費及び一般管理費」から「人件費」「諸税」を控除した額の合計額としました。

従業員: 販売費及び一般管理費中の「人件費」及び単体損益計算書の運送営業費中の「人件費」との合計額としました。

債権者さま: 営業外費用中の「支払利息」としました。

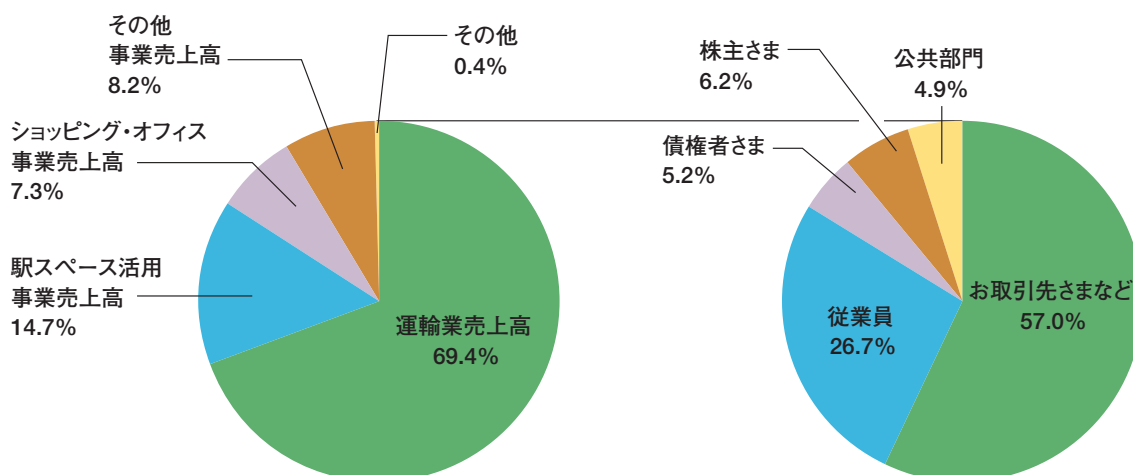
株主さま: 「当期純利益」と「少数株主利益」の合計額としました。

公共部門: 販売管理費及び一般管理費中の「諸税」及び「法人税、住民税及び事業税」「法人税等調整額」との合計額としました。

※各値の端数処理の関係上、合計値は合わない場合があります。

※表示上、加除が必要な数値については、有価証券報告書記載の端数処理済の数値を使用しています。

▶ JR東日本グループの売上高等内訳およびステークホルダー別経費等内訳



※売上高等内訳の「その他」は、営業外収益および特別利益と、支払利息を除いた営業外費用および特別損失を相殺しています。